高岡市民病院だより
Heart
Hospitality
Excellent
Amenity
Relationship
Trust
No.64
MAY.2023

CONTENTS

- 医師紹介…　私たちが担当します!
- 新任看護部長インタビュー
- たからキッズ利用者の声
- 5類引き下げ後の感染対策について
- 合同カンファレンスより

高岡市民病院 院内保育所「たからキッズ」に通所する

麻酔科 副主任臨床工学技士 小杉 隆浩さんと夏葵(なつき)ちゃん(1歳11か月)

院内保育所「たからキッズ」は市民病院で働く職員の子育て支援のため 2022 年 4 月に開園しました。
朝は子どもと一緒に出勤し、休憩時間に子どもの様子を見に行くことができます。
万が一、子どもの体調不良時も早めにお迎えに行けるなど、安心感があります。
勤務のない日でもリフレッシュ目的に利用することができます。

Heart
心のかよいあう医療を

【題字について】

Hospitality	こころのこもった接遇
Excellent	良質な医療で健全経営
Amenity	快適な療養環境
Relationship	人材を育成しよりよい人間関係
Trust	地域との信頼関係の構築

患者の皆様の権利を尊重します

本院では“生命の尊重と人間愛”を基本理念に、患者の皆さんと協同して最良の医療を提供できるよう以下の権利を尊重します。

1. 平等で最善の医療を受ける権利
2. 個人の尊厳が守られる権利
3. 説明にもとづき医療行為を選択する権利
4. 診療情報を得る権利
5. プライバシーが守られる権利

私たちが担当します！
～本院医師のご紹介～

外　科

病院長
藪下 和久（やぶした かずひさ）
［専門領域］
外科一般、消化器外科、内視鏡手術
［主な資格・学会］
・日本外科学会専門医・指導医
・日本消化器外科学会専門医・指導医
・日本大腸肛門病学会専門医・指導医

消化器内科・薬剤部

理事（経営戦略担当）
副院長、主任部長（兼）
伊藤 博行（いとう ひろゆき）
［専門領域］
消化器病一般、肝臓疾患
［主な資格・学会］
・日本内科学会指導医
・日本消化器病学会専門医・指導医
・日本消化器内視鏡学会専門医・指導医

外科・地域医療部

副院長、主任部長（兼）
福島 亘（ふくしま わたる）
［専門領域］
消化器外科、乳腺外科
［主な資格・学会］
・日本外科学会専門医・指導医
・日本消化器外科学会専門医・指導医
・日本乳癌学会乳腺専門医

内　科

医療局長
平田 昌義（ひらた まさよし）
［専門領域］
腎臓病、膠原病、一般内科
［主な資格・学会］
・日本内科学会指導医
・日本腎臓学会専門医・指導医
・日本内科学会総合内科専門医

内科・栄養管理部

主任部長
東 滋（あずま しげる）
［専門領域］
内分泌、糖尿病、一般内科
［主な資格・学会］
・日本医師会認定産業医
・日本内科学会
・日本内分泌学会

内科・循環器科

部長
中橋 卓也（なかはし たくや）
［専門領域］
循環器疾患（心臓血管病、高血圧など）、一般内科
［主な資格・学会］
・日本内科学会総合内科専門医
・日本循環器学会循環器専門医
・日本心血管インターベンション治療学会認定医

内　科　New

部長
中濵 克之（なかはま かつゆき）
［専門領域］
腎臓病、リウマチ、膠原病、一般内科
［主な資格・学会］
・日本リウマチ学会専門医
・日本内科学会認定内科医
・日本腎臓学会

内　科　New

部長
佐藤 晃一（さとう こういち）
［専門領域］
腎臓病、膠原病、リウマチ疾患、一般内科
［主な資格・学会］
・日本腎臓学会専門医
・日本透析医学会専門医
・日本内科学会認定内科医

内科・循環器科

部長
橋本 政史（はしもと まさふみ）
［専門領域］
循環器、一般内科
［主な資格・学会］
・日本循環器学会循環器専門医
・日本内科学会認定内科医
・日本心血管インターベンション治療学会認定医

内　科　New

部長
寺村 千里（てらむら ちさと）
［専門領域］
糖尿病、内分泌、一般内科
［主な資格・学会］
・日本内科学会指導医
・日本内分泌学会内分泌代謝専門医・指導医
・日本糖尿病協会療養指導医

内　科

医長
鈴木 舞（すずき まい）
［専門領域］
腎臓病、膠原病、一般内科
［主な資格・学会］
・日本内科学会認定内科医
・日本リウマチ学会
・日本腎臓学会

内科・循環器科　New

医長
稲端 翔太（いなば しょうた）
［専門領域］
循環器疾患、一般内科
［主な資格・学会］
・日本内科学会認定内科医
・日本循環器学会

内　科　New

医長
鈴木 信博（すずき のぶひろ）
［専門領域］
腎臓病、膠原病、リウマチ疾患、一般内科
［主な資格・学会］
・日本内科学会
・日本リウマチ学会
・日本IgG４関連疾患学会

精神神経科

主任部長（兼）
認知症疾患医療センター長
橘 博之（たちばな ひろゆき）
［専門領域］
精神科一般
［主な資格・学会］
・日本精神神経学会専門医・指導医
・精神保健指定医
・北陸精神神経医学会

精神神経科

主任部長（兼）
認知症疾患医療センター
副センター長
平尾 直久（ひらお なおひさ）
［専門領域］
精神科一般
［主な資格・学会］
・日本精神神経学会専門医・指導医
・精神保健指定医

Doctors file

精神神経科

医長
相馬 大輝（そうま だいき）
[専門領域]
精神科一般
[主な資格・学会]
・精神保健指定医
・日本精神神経学会

精神神経科 New

医師
須田 一平（すだ いっぺい）
[専門領域]
精神科一般
[主な資格・学会]
・日本精神神経学会

脳神経内科・検診部

主任部長（臨任）（兼）
認知症疾患
医療センター主任部長
根上 利宏（ねがみ としひろ）
[専門領域]
神経疾患全般、脳神経内科
[主な資格・学会]
・日本内科学会指導医
・日本神経学会専門医・指導医
・日本内科学会認定内科医

消化器内科

主任部長
中谷 敦子（なかや あつこ）
[専門領域]
消化器病一般
特に胃腸の病気
[主な資格・学会]
・日本内科学会指導医
・日本プライマリ・ケア連合学会プライマリ・ケア認定医・指導医
・日本消化器病学会専門医

消化器内科

主任部長
大澤 幸治（おおざわ こうじ）
[専門領域]
消化器病一般、心療内科
[主な資格・学会]
・日本内科学会指導医
・日本内科学会総合内科専門医
・日本消化器病学会専門医

消化器内科

主任部長
蓮本 祐史（はすもと ゆうし）
[専門領域]
消化器病一般、消化管疾患
[主な資格・学会]
・日本内科学会総合内科専門医
・日本消化器病学会専門医
・日本消化器内視鏡学会専門医

消化器内科 New

医師
後藤 柚乃（ごとう ゆの）
[専門領域]
消化器病一般
[主な資格・学会]
・日本内科学会
・日本消化器病学会
・日本消化器内視鏡学会

小児科

主任部長
辻 春江（つじ はるえ）
[専門領域]
小児科一般、小児循環器、感染症
[主な資格・学会]
・日本小児科学会小児科専門医・指導医
・日本小児循環器学会専門医
・インフェクションコントロールドクター（ICD）

小児科・感染症内科

主任部長
野口 正（のぐち ただし）
[専門領域]
小児科全般、感染症全般
[主な資格・学会]
・日本小児科学会小児科専門医
・日本感染症学会感染症指導医・専門医
・インフェクションコントロールドクター（ICD）

小児科

医師（非常勤）
辻 隆男（つじ たかお）
[専門領域]
小児科一般、小児アレルギー
[主な資格・学会]
・日本小児科学会小児科専門医・指導医
・日本アレルギー学会

外　科

主任部長
堀川 直樹（ほりかわ なおき）
[専門領域]
外科一般、乳腺・胃・大腸・肛門疾患、内視鏡手術
[主な資格・学会]
・日本消化器外科学会専門医・指導医
・日本外科学会専門医
・日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医

外　科

部長
宮永 章平（みやなが しょうへい）
[専門領域]
外科一般、乳腺・胃・大腸、内視鏡手術
[主な資格・学会]
・日本外科学会専門医
・日本消化器外科学会専門医
・日本消化器病学会専門医

外　科

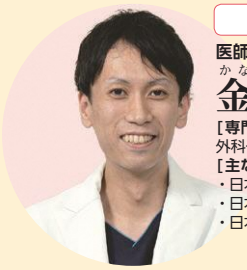
医長
飯田 優理香（いいだ ゆりか）
[専門領域]
外科一般
[主な資格・学会]
・日本外科学会専門医
・検診マンモグラフィ読影認定医
・日本乳癌学会乳腺認定医

外　科

医長
林 雅人（はやし まさと）
[専門領域]
外科一般、消化器外科
[主な資格・学会]
・日本外科学会専門医
・日本消化器外科学会
・日本内視鏡外科学会

外　科 New

医師
荒木 幸紀（あらき ゆきのり）
[専門領域]
外科一般、消化器外科
[主な資格・学会]
・日本外科学会
・日本消化器外科学会



外　科 New

医師
金本 啓一郎（かなもと けいいちろう）
[専門領域]
外科一般、消化器外科
[主な資格・学会]
・日本外科学会
・日本消化器外科学会
・日本消化器病学会

整形外科

担当局長（救急医療担当）
中野 正人（なかの まさと）
[専門領域]
整形外科一般、脊椎脊髄外科、骨粗しょう症
[主な資格・学会]
・日本脊椎脊髄学会指導医・評議員
・日本整形外科学会整形外科専門医・代議員
・日本脊椎脊髄病学会・日本脊髄外科学会脊椎脊髄外科専門医

整形外科・リハビリテーション科

主任部長
藤田 雄介（ふじた ゆうすけ）
[専門領域]
整形外科一般、関節外科、スポーツ外傷、障害
[主な資格・学会]
・日本整形外科学会整形外科専門医
・日本DMAT隊員

整形外科・リハビリテーション科 New

主任部長
今西 理恵子（いまにし りえこ）
[専門領域]
整形外科一般、
リハビリテーション
[主な資格・学会]
・日本リハビリテーション医学会専門医・指導医
・日本整形外科学会整形外科専門医

整形外科

医長
近藤 美穂（こんどう みほ）
[専門領域]
整形外科一般
[主な資格・学会]
・日本整形外科学会整形外科専門医
・中部日本整形外科災害外科学会
・日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会

整形外科

医長
今井 達朗（いまい たつろう）
[専門領域]
整形外科一般
[主な資格・学会]
・日本整形外科学会整形外科専門医
・中部日本整形外科災害外科学会

整形外科

医長
八島 悠至（やしま ゆうし）
[専門領域]
整形外科一般
[主な資格・学会]
・日本整形外科学会専門医
・中部日本整形外科災害外科学会

形成外科

主任部長
榎本 仁（えのもと じん）
[専門領域]
形成外科一般
[主な資格・学会]
・日本形成外科学会
・日本手の外科学会
・日本褥瘡学会

皮膚科

部長
森 直哉（もり なおや）
[専門領域]
皮膚科一般、皮膚外科、褥瘡
[主な資格・学会]
・日本皮膚科学会専門医
・日本褥瘡学会

泌尿器科

主任部長
林 典宏（はやし のりひろ）
[専門領域]
泌尿器一般、前立腺がん、腎がん、尿路上皮がん、副腎腫瘍、腹腔鏡手術
[主な資格・学会]
・日本泌尿器科学会専門医・指導医
・日本泌尿器科学会・日本泌尿器内視鏡学会泌尿器腹腔鏡技術認定医
・日本内分泌外科学会

泌尿器科 New

医長
菊島 卓也（きくしま たくや）
[専門領域]
泌尿器一般
[主な資格・学会]
・日本泌尿器科学会専門医

産婦人科

主任部長
脇 博樹（わき ひろき）
[専門領域]
産婦人科一般、不妊症、腹腔鏡手術
[主な資格・学会]
・日本産科婦人科学会専門医・指導医
・日本専門医機構産婦人科専門医
・日本産科婦人科内視鏡学会腹腔鏡技術認定医

産婦人科

部長
山﨑 悠紀（やまざき ゆうき）
[専門領域]
周産期医学、不妊症、女性専門外来、思春期相談、腹腔鏡手術
[主な資格・学会]
・日本産科婦人科学会専門医・指導医
・日本女性医学会女性ヘルスケア専門医・指導医
・日本産科婦人科内視鏡学会腹腔鏡技術認定医

産婦人科

部長
牛島 倫世（うしじま みちよ）
[専門領域]
産婦人科一般、女性専門外来、思春期相談、婦人科細胞診（専門医）、腹腔鏡手術
[主な資格・学会]
・日本産科婦人科学会専門医
・指導医
・日本臨床細胞学会教育研修指導医
・日本産科婦人科内視鏡学会腹腔鏡技術認定医

産婦人科

医長
生水 貫人（しょうず かんと）
[専門領域]
産婦人科一般
[主な資格・学会]
・日本産科婦人科学会専門医
・日本周産期新生児医学会
・日本婦人科腫瘍学会

産婦人科 New

医師
八木 萌（やぎ もえ）
[専門領域]
産婦人科一般
[主な資格・学会]
・日本産科婦人科学会

眼　科

主任部長
加藤 剛（かとう つよし）
[専門領域]
眼科一般、網膜剥離、糖尿病網膜症、白内障、緑内障
[主な資格・学会]
・日本眼科学会専門医

眼　科 New

医長
山﨑 仁史（やまざき ひとし）
[専門領域]
眼科一般、緑内障
[主な資格・学会]
・日本眼科学会
・日本網膜硝子体学会
・日本緑内障学会

眼　科 New

医師
赤井 亮太（あかい りょうた）
[専門領域]
眼科一般、白内障
[主な資格・学会]
・日本眼科学会

耳鼻咽喉科

部長
北川 典子（きたがわ のりこ）
[専門領域]
耳鼻咽喉科一般、頭頸部腫瘍
[主な資格・学会]
・日本耳鼻咽喉科学会専門医
・耳鼻咽喉科臨床学会
・日本頭頸部癌学会

放射線科

担当局長（医療安全担当）
寺山 昇（てらやま のぼる）
[専門領域]
腹部画像診断、IVR、肝癌
[主な資格・学会]
・日本医学放射線学会放射線診断専門医
・日本インターベンショナルラジオロジー学会専門医
・検診マンモグラフィ読影認定医

Doctors file

放射線科・放射線部

主任部長
小林 佳子（こばやし けいこ）
[専門領域]
画像診断一般、超音波、乳癌
[主な資格・学会]
・日本医学放射線学会放射線診断専門医
・検診マンモグラフィ読影認定医
・検診乳がん超音波認定医

放射線科

部長
坊 早百合（ぼう さゆり）
[専門領域]
放射線科治療
[主な資格・学会]
・日本医学放射線学会放射線治療専門医
・日本放射線腫瘍学会放射線治療専門医

放射線科 New

医師
本南 研人（もとなみ けんと）
[専門領域]
画像診断一般、IVR
[主な資格・学会]
・日本医学放射線学会
・日本インターベンショナルラジオロジー学会

歯科口腔外科

主任部長
篠原 治征（しのはら はるゆき）
[専門領域]
歯科口腔外科一般、顎関節症、顔面外傷
[主な資格・学会]
・日本有病者歯科医療学会専門医・指導医
・日本口腔外科学会口腔外科専門医
・日本口腔診断学会認定医

歯科口腔外科 New

医師
八藤後 堯（やとうご たかし）
[専門領域]
口腔外科一般
[主な資格・学会]
・日本口腔外科学会
・日本有病者歯科医療学会
・日本口腔診断学会

麻酔科・集中治療科

担当局長
（がん医療担当）
瀧 康則（たき やすのり）
[専門領域]
麻酔一般、集中治療、救急医療、ペインクリニック
[主な資格・学会]
・日本麻酔科学会専門医・指導医
・日本ペインクリニック学会専門医
・日本救急医学会専門医

麻酔科・集中治療科

医師
吉江 和佳（よしえ かずか）
[専門領域]
麻酔一般、ペインクリニック
[主な資格・学会]
・日本麻酔科学会専門医・指導医
・日本臨床麻酔学会
・日本緩和医療学会

麻酔科・集中治療科 New

医師
上田 桃子（うえだ ももこ）
[専門領域]
麻酔一般
[主な資格・学会]
・日本麻酔科学会
・日本臨床麻酔学会

麻酔科・集中治療科 New

医師
久米 菜津子（くめ なつこ）
[専門領域]
麻酔一般
[主な資格・学会]
・日本麻酔科学会

麻酔科・集中治療科

医師（非常勤）
三上 真理子（みかみ まりこ）
[専門領域]
麻酔一般
[主な資格・学会]
・日本麻酔科学会
・日本臨床麻酔学会

病理診断科・検査部

主任部長
林 伸一（はやし しんいち）
[専門領域]
外科病理
[主な資格・学会]
・日本病理学会病理専門医・指導医
・日本臨床細胞学会教育研修指導医
・日本臨床細胞学会細胞診専門医

病理診断科

主任部長
三輪 重治（みわ しげはる）
[専門領域]
外科病理
[主な資格・学会]
・日本病理学会病理専門医・指導医
・日本臨床細胞学会細胞診専門医

緩和ケア内科

部長
中山 啓（なかやま あきら）
[専門領域]
緩和医療、消化器外科
[主な資格・学会]
・日本外科学会専門医
・日本消化器外科学会専門医
・日本がん治療認定医

検診部

医師（非常勤）
七澤 洋（ななさわ ひろし）
[専門領域]
消化器内科、慢性炎症性腸疾患
[主な資格・学会]
・日本消化器内視鏡学会専門医・指導医

研修医

前川 彩也佳（まえかわ さやか）

小田切 静香（おだぎり しずか）

川口 アエ（かわぐち あえ）

New

山本 祥子（やまもと さちこ）

New

川畠 靖正（かわばた やすまさ）

New

佐藤 美悠（さとう みゆう）

New

釣谷 周平（つりたに しゅうへい）

TOPICS

新任看護部長に聞く――私たちが目指すべき看護

看護師として30年以上のキャリアを積み、この4月から新しく看護部長に就任した稲見年美さん。彼女が見据えるこれからの看護、その役割についてお聞きしました。

稲見 年美（いなみ としみ）
看護部長

心に寄り添い、質の高い看護を

高岡市民病院は自治体病院であり、かつ地域医療支援病院としての役割を担っています。また急性期病院ですので救急の患者さんも来られます。不安を抱えた多くの患者さんに対して、寄り添った看護と質の高い看護を速やかに提供し、患者さんが安心して療養できるように努めなくてはなりません。入院の場合、在院日数は平均12日程度になりますが、そうした短い期間の中で必要なケアを行なっていくことが大事です。

そのためには患者さんの一番の問題点が何かをきちんとアセスメントし、その上で適切な医療と看護を提供していく必要があります。入院という不慣れな環境の中では患者さんの心や体に変化が表れることもあり、それに対応したケアも同時に行なっていかなければなりません。だからこそ専門的な知識・技術といった裏づけが大事になりますし、求められるところなのだと思います。

安心して療養していただくために

看護部が掲げる目標の中に、臨床判断力の向上があります。また患者さんに安心・安全に療養していただくため、患者誤認など間違いをなくすよう、確認行動の徹底にも取り組んでいます。

令和4年度からは外来機能報告が義務づけられ、外来看護の専門性が問われてきています。外来患者さんにはご自宅から来られる人だけでなく、介護施設であったり、他の病院から紹介されて来られる人など様々な方がいらっしゃいますが、外来という短く限られた時間の中で、病状の説明や治療方針を理解していただくことはもちろん、ご自宅や施設に戻られた後、療養しながら生活できるよう患者さん一人ひとりを見て、適切な指導をしていくことがとても大事になります。

看護部長として看護の未来像を描く

前任の部長からも言われたことですが、看護部長という立場は、現状よりもその先を見越す――今後、医療や看護がどう変わっていくかを見据え、未来像を描くことが求められます。社会情勢の動向、社会変化を踏まえた当院のあり方、看護のあり方について、どのような方向へ導いていくかを考えていかなければなりません。

それに加え、スタッフが安心して働ける職場にしたいという思いがあります。当院には正規と非正規を含め400人ほどの看護師と、60人の看護補助者がいます。この3年間のコロナ禍で、看護師は身体的にも精神的にも疲弊しているのではないかと思います。全国を見ても看護師の離職率は上がっており、当院がそうだというわけではありませんが、スタッフ同士のつながりや、一人ひとりの心のケアを大事にすることで、安心して働ける職場になることを願っています。

看護師は病む人を看ることが仕事です。だからこそ看護師自身は体も心も健康で、元気であってほしいと思います。看護部長の役割の一つとして、今後の目標にしていきたいところです。

これからも役割意識を強く持って

看護部は、たくさんの職員が所属しており、病院の中で大きなウェートを占めています。この大所帯をまとめるのは大変ですが、コロナ禍でも当院はクラスターの発生を最小限に抑えることができました。これは、みんなが感染症指定医療機関で働いているという役割意識をしっかり持っていたということと、エビデンスに基づいた知識や技術を駆使して感染対策を行い、乗り越えてきたことの証しだと思っています。

これからも、地域のみなさまに高岡市民病院って良い病院だなと思っていただけるよう、看護部一同、頑張ってまいります。何とぞ、よろしくお願いいたします。

voice たからキッズ利用者の声！

麻酔科 副主任
臨床工学技士

小杉（こすぎ） 隆浩（たかひろ）さん　夏葵（なつき）ちゃん
（1歳11か月）

Q 現在の仕事内容を教えてください

A 臨床工学技士として勤務しており、業務内容としては心臓カテーテル業務、透析業務、手術室や集中治療室での機器操作や管理、病院全体の医療機器の中央管理による点検や管理などを行い院内で幅広く仕事をしています。

Q 院内保育所を利用することに不安はなかったですか

A 率直に言うと、不安は全くありませんでした。入園前の説明会や内見では丁寧に対応して頂きましたし、実際に子供を連れて面接に行った時も、優しくて明るい先生ばかりで安心しました。慣らし保育などで子供にとっても無理なく馴染めるような環境作りも整えられているので、そういった面でも心配はなかったです。

Q 産院内保育「たからキッズ」を選んだ理由は？

A 自分の職場内にあるということが選んだ一番の要因であったと思います。夫婦共働きの環境で仕事・子育て・家事を追われることなく、いかに楽しく、効率よく行うかを考えたときに、自分の通勤や仕事のリズムを崩すことなく毎日の通園など行えるということは大きな決め手になりました。それにより子供と一緒に過ごせる時間も増えるので、自分の楽しみにもなりますし。また、他と比べても利用料金がかなり安価であることも魅力的でした。

Q 実際に利用してみて良かったこと嬉しかったことを教えてください？

A 園長先生はじめ先生方が本当に優しいおかげで子供がとても懐いており、みんなで楽しく過ごしているようで、毎日の通園を楽しみにしてくれるようになって良かったです。

保育園で作ったものをよくプレゼントされたり、歌を口ずさむようになったり、先生から着替えを教わって家でも自分でしたがるようになったりと、学んできたことで成長を実感できた時は嬉しかったです。また、保護者会では公園や園内で遊んでいるところや、イベントを楽しんでいる様子をビデオ撮影・編集して見せていただけるのですが、普段は見ることができない子供の姿を見られることも貴重だと思います。

子供が体調を崩したときもすぐに駆け付けることができるので、そこにもすごく安心を覚えました。

5類引き下げ後の感染対策について

理事・副院長 伊藤 博行
主任看護師 長谷川 裕

新型コロナウイルス感染症発生から3年以上が経過し、流行は8波を数え当院でも1000人以上の入院患者の受け入れを行いました。令和4年度は感染力の強いオミクロン株への変異により発熱外来の患者数は4744人、入院患者数も495人にのぼりました。なお、5月8日より感染症法上は5類感染症となりますが伝搬性は変わりません。当院では手指衛生の実施・マスクの着用等、接触・飛沫感染対策を徹底し、患者さん、地域の皆さん、医療従事者にとって安全な環境づくりに努めていきます。そして、射水・氷見を含む高岡医療圏の急性期病院として手術や一般診療、救急医療とともに、第二種感染症指定医療機関として感染症治療を推進していきます。

単位（人）

	発熱外来受診患者数	COVID-19入院患者数
令和2年度	1,769	138
令和3年度	2,637	374
令和4年度	4,744	495

PICK UP

9月開催「高岡市民病院・医師会合同カンファレンス」より

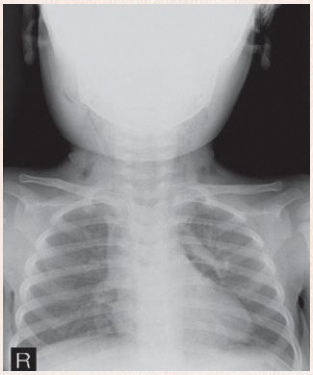
～縦隔気腫の小児例～

小児科
辻 春江（つじ はるえ）
主任部長

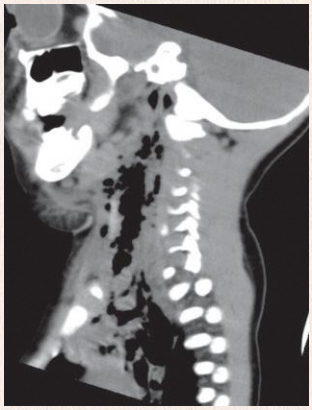
高岡市民病院で行っている医師会合同カンファレンスで発表された内容についてご紹介します。これからも多くの皆さんのご参加をお待ちしています。

(1)歯ブラシ外傷による縦隔気腫

2歳児。歯ブラシをくわえたまま転倒し、のどに歯ブラシが1.5cm程度刺さった。翌日起床時から右顎下部の腫脹が著明、ぐったりし、38.8℃の発熱を認めた。



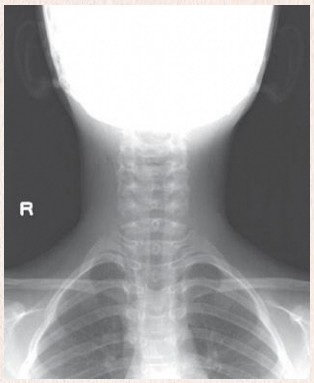
・歯ブラシ外傷は年齢的に、受傷機転が不明であるケースがあること、自覚症状を十分に伝えることが出来ないことなどのリスクが存在します。さらに、受傷直後には症状が目立たないことが多いことに留意します。



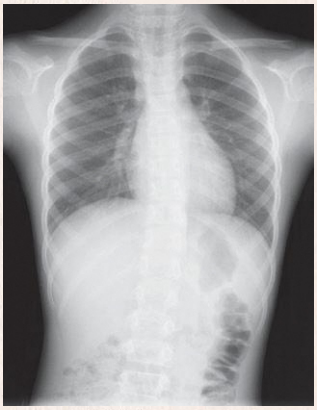
頸部CT 頸部軟部組織から縦隔に広範囲に気腫あり

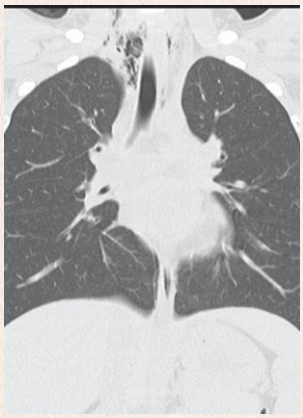
・歯ブラシ外傷は感染率が高く、炎症の波及が早く、重症化しやすいため、軽微な外傷であったとしても保護者にはその増悪リスクについて十分に説明する必要があります。

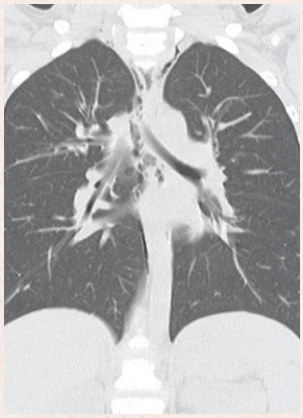
(2)特発性縦隔気腫



8歳児。夕方プールの練習中に喉から胸にかけて苦しくなった。特発性縦隔気腫と診断。通院で経過観察したところ、1週間後の胸部・頚部単純X線写真では縦隔気腫および皮下気腫は消失していた。







胸部CT 咽頭後隙から内頸動脈周囲、
上・後縦隔にかけて結合組織内に気腫あり

・特発性縦隔気腫はまれな疾患ではありませんが、基礎疾患として、気管支喘息、妊娠、麻疹などをともなうことが多く発症前に健康であった症例は少ないようです。
・治療は安静が基本で、治癒までの期間は平均7日間とされています。

Heart 高岡市民病院だより No.64 2023年5月発行
発 行：高岡市民病院 広報委員会 〒933-8550 富山県高岡市宝町4番1号 TEL.0766-23-0204 FAX.0766-26-2882 ©TAKAOKA Hospital